

【特別掲載】令和6年冬季賞与の支給状況(事業所規模30人以上)

この調査結果は、令和6年11月から令和7年1月の「特別給与」のうち、賞与として支給された給与を抜き出して特別に集計したものである。

(1) 概要

調査産業計の一人平均賞与支給額は428,348円で、前年に比べると7.6%の増加であった。平均支給月数は1.31か月分、支給事業所数比率は86.9%、支給労働者数比率は88.2%であった。

(2) 産業別支給状況

産業別の賞与支給状況をみると、「教育、学習支援業」(771,254円)を最高に、以下、「建設業」(739,590円)、「電気・ガス業」(736,212円)、「学術研究等」(698,318円)と続いている。

《産業別1人平均賞与支給額等の状況》

産業	支給労働者 一人平均支給額	前年比	平均 支給月数	支給事業 所数比率	支給労働 者数比率
	円	%	か月分	%	%
調査産業計	428,348	7.6	1.31	86.9	88.2
建設業	739,590	41.6	1.51	46.5	48.4
製造業	512,860	6.5	1.42	91.3	92.6
電気・ガス業	736,212	12.4	2.11	100.0	100.0
情報通信業	644,245	△ 34.0	1.55	100.0	100.0
運輸業、郵便業	377,565	32.5	1.34	74.7	75.5
卸売業、小売業	254,215	22.3	1.02	86.0	78.4
金融業、保険業	650,519	△ 4.2	1.85	100.0	100.0
不動産業、物品賃貸業	207,008	△ 45.2	0.90	56.5	66.6
学術研究等	698,318	8.7	1.98	98.0	94.1
飲食サービス業等	55,550	8.1	0.39	70.7	79.7
生活関連サービス等	254,096	△ 30.3	1.07	91.0	86.9
教育、学習支援業	771,254	16.0	2.46	100.0	100.0
医療、福祉	362,704	3.4	0.92	99.9	99.2
複合サービス事業	X	X	X	X	X
その他のサービス業	259,836	35.9	1.21	78.7	79.4

(注) 1 「支給労働者一人平均支給額」とは、賞与を支給した事業所の全常用労働者一人平均支給額である。

2 「平均支給月数」とは、賞与を支給した事業所における賞与の所定内給与に対する割合を単純平均したものである。

3 「支給事業所数比率」とは、賞与を支給した事業所の全事業所に占める割合である。

4 「支給労働者数比率」とは、賞与を支給した事業所における全常用労働者の全事業所における全常用労働者に占める割合である。